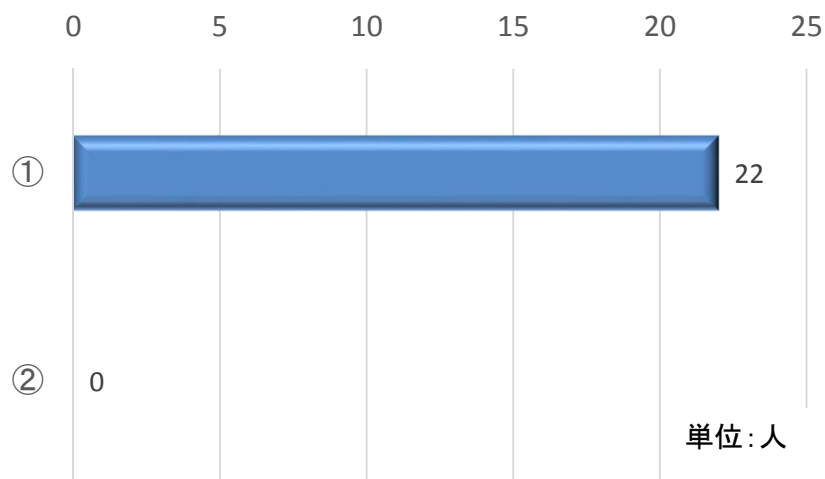


質問1

見学会に参加してどうでしたか。

	回答
①	良かった
②	良くなかった



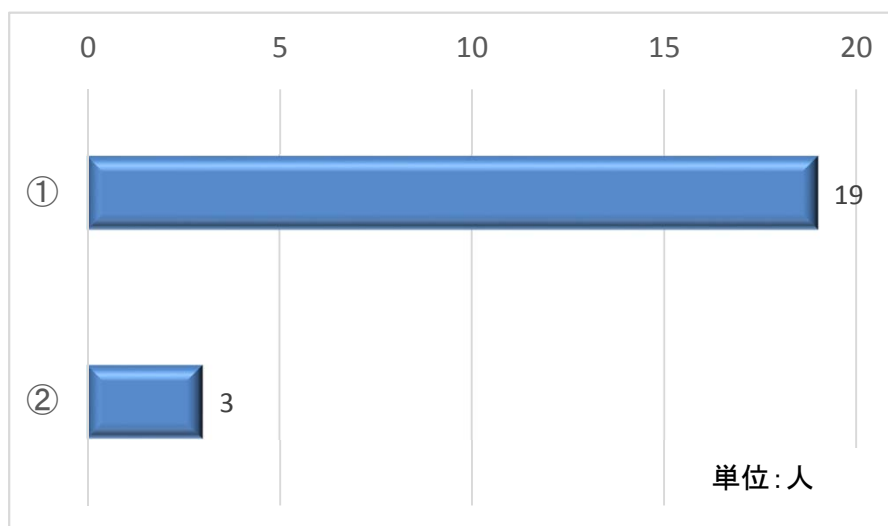
主な理由

- ・治山事業の一端でも、自分の目で見ること、理解を深めることができた。又、製材ヤードでも、製品になるまでの関係者の苦労を知ること出来、貴重な体験だった。
- ・新たな山に関する知識が増え、また様々なモニターの方々の意見が聞けて、色々な角度から木や山について考えている方々と接することができてとても楽しく、勉強になった。
- ・実際に自分の目で林野庁の仕事の一角を現場で見れたのは良かった。
- ・とても良かった。話をしたかった参加者とコミュニケーションもとれた。

質問2

時期についてはどうでしたか。

	回答
①	10月下旬で良かった
②	その他



主な理由

- ・治山現場では樹木から既に葉が落ち視界が広がっていたし、時期的に虫も少なくなってきたので、ちょうど良い時期だと感じた。
- ・今年は9月初旬に大きな地震や台風などがあり、特にこの時期でよかったと思いました。
- ・9月末頃。紅葉を兼ねた散策時であれば尚一層良かったと思う。
- ・10月上旬の平日開催を望む。施工や作業中の現場と工場側等からの、担当者の生の声・説明が欲しかった。

質問3

①見学コースはどうでしたか。

主な意見

- ・限られた時間の中で、良い選択をして頂いたと思う。
- ・治山工事現場に至る国有林の山々と昭和木材の会社見学のバランスが良かった。
- ・途中での休憩もあり、改めて北海道の広さを、実感した。
- ・白金自然休養林は、実際に下車して見学したかった。列状間伐の実施林や新しい取り組みをしている林など、川上の現場も見てみたかった。

質問3

②時間割はどうでしたか。

主な意見

- ・適切だった。昼食時間もゆとりがあった。
- ・急ぎすぎず、ゆっくりすぎずちょうど良かった。
- ・少々、窮屈ではあったが、少ない時間を有効に使っていたと思う。
- ・全道各地からの参集で時間的制約は分かりますが、折角時間を割いて参集しているから、近間の連続している現場・施設等をもう1～2ヶ所設定して頂けたら、有意義な見学会になるかと思う。

質問3

③説明等はどうでしたか。

主な意見

- ・各担当者が持場・立場で具体的に説明していた。質問にも具体的に分かりやすかった。
- ・ポイント、ポイントを分かりやすく説明していただいたので、理解できた。資料と説明がマッチしていたので良かった。
- ・先の地震への対応の説明もあり新聞、テレビでは報道されない内容も含まれていて良かった。
- ・たくさんの森林管理署の方々がいらっしゃたので、個々に色々な質問をしていることもあり、とても良かった。

質問4

今回の見学で最も印象に残ったものは何でしたか。

主な意見

- ・導流堤を見たとき、景観保護と間伐材利用はピンときたが、型枠と輻射熱には思いが至らなかった。特に輻射熱の軽減については印象に残った。
- ・治山工事現場での山地、地形を利用した大きな導流堤には驚いた。十勝岳の奥深くに安全で安心に市民生活を守る機能(防災)は、来て実際に目で見て良かった。
- ・小野寺所長の説明が、自分の思いを織り交ぜたもので、森林や林野庁の事業、北海道への熱い気持ちが感じられたこと。
- ・昭和木材のウォールナット原木の山。数本は旭川の原木市場で見たことがあったが、あのようにたくさんあることは知らなかった。どこの港から運んでくるのか、乾燥に2年間かかっても採算があうことに興味を持った。
- ・胆振東部地震の復旧を考える時、山の復旧は10年100年単位でもしかたないかと思った。
- ・日本の林業には、これからの可能性があるということは、とても印象深い。
- ・防災について、林業が深くかかわっている事がわかった点。

質問5

これからの現地見学会に取り入れてもらいたい内容はありますか？

主な意見

- ・職員の方と軽登山を行って木々の説明を受けたい。
- ・伐採や植林といった川上の現場を見てみたい。
- ・実際にドローンを飛ばして、見られたら、もっと臨場感があったのではないか。
- ・山の形成、樹木の種類、成長過程などを現地で実際の物を見せて説明してほしい。

質問6

その他この見学会に参加して、気づいたこと・思ったこと・意見・提案・感想等何でも構いませんのでお書き下さい。

主な意見等

- ・このような見学会を何度か催して頂き、より理解を深めていきたいと思った。
- ・同行された職員の皆さんの仲間意識が感じられ、好感を持った。また、仕事に誇りを持っていることが強く感じた。
- ・希少個体群保護林について、バスの移動中に「ここが保護林です」とか「今通過中です」などの案内がほしかった。また、どんな保護をしているのか、伐採しないだけなのか、立入禁止なのか、などなど知りたかった。
- ・今回は上川中部森林管理署管内を見学することができて、非常に良い経験となった。地元渡島管内も見学する機会があれば良い。管理署毎に個別対応していただければ、国有林への理解も一層深まると思う。
- ・資料の説明ですが管理署が駅から近いので30分位で実施出来るのでは？
- ・林業従事者が減少傾向の中で仕事を進められる事、頭が下がる。木材自給率(34.8%)も上昇してきていますので(2000年18.2%)災害の多い日本ですが国有林を(育て利用)守っていただきたい。
- ・正直、参加するまでは「そんなに税金をかけるべき物なのか？」と思っていたが、実際に参加してみて、その意義というか「現場を見学し、担当者の想いを聞く事の重要性」を感じた。聞くと見るとでは大違いという事を体感させられた見学会でした。来年も楽しみにしております。
- ・導流堤のところの説明で「十勝岳30年周期噴火説」について触れられていたが、この説の前提になる安政4年と明治20年の噴火は、文献的にも陰下物の分析でも大変疑わしいことが判ってきた。今後、公的な見解ではなくなると思います。
- ・国の政策や取り組みを国民として周知すること、国家として周知させることは、非常に重要だと考えますのでモニター事業を引き続き継続していただきたいと感じた。

- ・十勝岳治山事業のどうしてあのような場所に設置したのか？又、工事方法、基準など知りたかった。
 - ・昭和木材さんでは、ただ製材ヤードの見学だったので、製材工場の見学がなかったのでちょっと物足りなかった。
 - ・今回現地見学会に参加し、山を守る為に大変な事業が行われている事、そこから成長した森林の木材が我々の生活にあらゆるところで利用されていることなど、良く分かった。
 - ・自然の驚異、十勝岳は150年の間に5回もの大噴火があり多くの死傷者を出した山、そんな十勝岳の大自然の山麗の治山工事現場を見て、その現場を守っている森林管理局の皆様の日頃の努力に感謝です。
 - ・参加できて良かった。山々が好きでバスから降りて途中から歩きたくなった。冬でも春でも国有林モニター見学是非、仕事有給取ってでも参加したい。
 - ・林業、森など「木」「森」の専門家の方々の話を伺っただけでも、貴重な時間だった。現地での説明はとても楽しかった。とても勉強になったので、もっと多くの人に国有林の取組とか伝わるといいなと思う。
 - ・改めて、北海道の広さと、植生の豊かさに驚いている。特に、治山事業には、工事だけではなく、森林再生をも考えた施工をしている事に感心した。
 - ・森林の再生は、とても難しい事と思う。やはり、その域、その域で気候も異なり、樹種も多様な気がします。現在この多様な樹種の森林があるから、大事にしてほしい。これからは、樹種個々の特徴や形態を知っていこうと思う。北海道には、各地、各様の気候帯と標高による、植生の変化があり、改めて森林への思いが強くなった。
 - ・製材の利用、上川の名称の由来、北海道の林業について等、幅広い分野の様々なお話がありとても有意義な時間を過ごすことができた。
- 個人的な興味だが、高齢木(国有林高齢木の紹介)や樹木医の方の(ツアーなどで説明)お話も聞いてみたいと思う。
- 森林管理署の方々と会うことがあまりないので、今回お話を聞いてとても楽しく勉強になった。
- ・普段、工事中の現場は見る事がないので、工事に係るであろう、機械類を想像することが出来ただけでも、とても有意義だった。住んでいる地域に、木材加工等をしている所が無いので、地域差を感じた。

- ・もっと自然休養林に足を運びたいと思った。
- ・参加されていた皆様の意欲的かつ探究心に刺激された。
- ・導流堤を実際に見た時、今から30数年前、十勝岳より遠い土地で住宅建設するために土を掘ったところ、大正泥流の時に流れてきた「木」がそのまま出てきたということがあったことを思い出した。泥流の恐怖を感じながら働いていた身ですので、治山の大切さを痛感した。
- ・木の良さやその利用の意義を学ぶ「木育」というべき木材利用に関する教育活動の推進・民国連携の取組は、林業隆盛の根幹と捉えまますので、今後とも積極的展開をお願いします。
- ・新植10年前後のエリアで成長が遅い不良木・切り捨て間伐材を有効活用して、全道各地の管理署・事務所単位で地域密着型の、木育活動の積極的展開を望みます。
- ・最近の自然災害では”想定外”と言われるケースが多く、確かに備えている現場を見たことで、安心感を得られることが出来た。広大な自然を管理することの大変さを感じた。
- ・国有林にしろ、私有林にしろ、木の価値や役割を改めて考え、有効活用していきたいなと感じた。
- ・自分自身が過去に港湾等にてコンクリートを扱う現場に従事したことがあり、今回の見学会で導流堤の表面に間伐材を型枠として使用し輻射熱抑制のために、そのまま残す工法があることに感動した。
- ・職員の皆様が一生懸命、準備して実施して下さっていたのを感じた。